



九州主産県が合同で国産アスパラガスをPR 九州産春アスパラガスの試食宣伝会が開催！

九州主産県合同アスパラガス試食宣伝会

- 期日：3月29日(火)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：「九州主産県アスパラガス主産県協議会」(JA全農ながさき、JAグループ佐賀、JA全農ふくれん、JA熊本経済連、JA全農おおいた)
- 内容：九州産アスパラガスのPRや試食宣伝等

■ H29年は九州主産県が28%！

九州産の春アスパラガスの出荷がピークを迎えることから、九州産アスパラガス主産県協議会(長崎、佐賀、福岡、熊本、大分)主催の合同試食宣伝会が開催されました。

H28年アスパラガスの出荷量(農林水産省統計)は、北海道(占有率14%)、長野県(同11%)に次いで、3位以下佐賀県、長崎県、熊本県、福岡県が上位を占めており、22位の大分県を含めて占有率は32%を占めています。(群馬県は19位、占有率は0.9%)

H29年都中央のアスパラガス入荷量は、1位がメキシコ(占有率21%)、2位が栃木県(同13%)に次いで佐賀県が3位ですが、九州5県合計の占有率は28%とメキシコを上回る入荷量となっています。(群馬県は17位で占有率は0.7%)

■ レシピ作成で九州産アスパラガスの消費拡大！

九州産アスパラガス主産県協議会は、九州全体のアスパラガスの収量アップや品質向上を目的で定期的に情報交換しており、主産県それぞれのオススメレシピ(焼きアスパラガスのナムル風、ゴマ和え、バターライス等)やアスパラガス栄養成分や栽培の特徴等をのせたリーフレットの作成を行い、九州産アスパラガスの消費拡大を積極的に取り組んでいます。

今年の九州産春アスパラガスの生育は、2月まで冷え込みが強く生育は遅れ気味でしたが、3月以降の気温上昇から生育は回復傾向で推移しています。昨年は暖冬から積算温度が足りない影響で不作でしたが、今作は低温にも十分遭遇し生育順調で、前年を上回り平年並の出荷が見込まれるとのことです。

当日は、「ホワイトアスパラガス(佐賀産：数少ないホワイトアスパラガスの主要産地)とグリーンアスパラガス(九州産)の塩茹で」が市場関係者に提供され、「柔らかくて味がある。」「何もつけなくてもうまい。」と九州産の春アスパラガスの食味の良さをPRしました。



「アスパラガス」試食宣伝会場



試食宣伝の様子



試食品の様子



4種類のレシピでPR